

【ごこうでん】 御香典つて何？

親しい方の訃報を受けて、お通夜や、ご葬儀に行く際には、ご香典をご用意されると思います。そこで、お通夜や四十九日法要など、その他法事に際して、ご香典袋の表書きが違うのはご存じだったでしょうか？御香典袋は、香典返しを行う際の確認資料として保管するケースも多くて、表書きの文字が違っていたり、マナー違反を犯してしまつと、恥ずかしい思いをする、なんて事になってしまいます。

会葬者として式場に向かう場面に至り、「香典袋の書き方が分からない」とか、「誰の名前を記載すれば良かったんだっけ？」といった疑問や悩みを抱える方も少なくないと思います。

今回は【御香典の表書きについて】解説してまいりますので、ぜひご参考になさってみて下さい。

そもそも「香典」というのは何か？ということなんですけれども、これは、お香やお花の代用として、故人に手向けるお金を意味しております。一般的には、香典袋や不祝儀袋にお札を包んで、お通夜やご葬儀、告別式に持ち寄るのがマナーとされております。

●【ご香典の由来】

そんな御香典の由来は、お線香が開発される以前の日本において、関係者の持ち寄った「お香」であるという説がございます。お線香の存在しない時代では、お香の煙を使って、故人があつた世に向かう際の道しるべを示しておりました。お香の煙を絶やすことなく焚き続けるには、当然大量のお香が必要となります。そのため、故人と御縁ある人が、皆でお香を持ち寄って、御遺族の負担を軽減していました。このお香が現金に形を変えて、現在のスタイルに至るといわけです。現在でも御香奠は、大切な人を亡くした御遺族の状況を慮り、金銭的に援助するためのものとなっております。故人や御遺族に対する心配りを示すために持ち寄るといふ心持ちは、今も昔も同じで変わりません。そんな御香奠袋の書き方や包み方など、形式的なマナーを知って、それを守って、御遺族への気遣いや、故人を弔うお気持ちをお大切に、御香奠を準備したいものですね。

●【ご香典袋の表書き】

日本のお葬式というのは約8割が仏教でのお葬式になります。でも皆さんは訃報のご連絡をいただいた時に、仏教なのか、神道なのか、キリスト教でお葬式を執り行うのか？そこまで御遺族に聞かないことが殆どだと思います。そこで仏教の御葬儀に使うご香典の表書きは、その

まま「御香典」と書いたり、あるいは「御仏前」や「御霊前」などと書くのが一般的だと思います。この書き記す名目は、仏教の宗派によっても異なっております。では御仏前はどのような時に使うのか？と申しますと、四十九日以降に「仏」となった方に対するお悔やみの気持ちなので、四十九日法要とか一周忌法要や、三回忌法要などの、追善供養の際にお使いくください。ただし、浄土真宗さんだけは「霊」の考え方が無いので、前もって浄土真宗さんと知っていれば「御仏前」を持つていくのが正解となります。

「即身成仏(そくしんじょうぶつ)」と言いまして、お亡くなりになってから四十九日間の後に「仏」となるという考え方が無くて、すぐに仏となるという考え方が無くて、浄土真宗さんの場合は、御仏前をご持参するのが正解となります。

また「御香典(御香奠)」という袋がございます。これは「御霊前」「御仏前」どちらを持つて行けば良かったんだっけ？と分からなくなった時に、どちらにも対応できる万能袋が「御香典(御香奠)」になります。

この「香」という字は、仏教での言い回しとして、お香の香という意味になります。仏教でしかお香は扱いませんので、もし仏教以外のお葬式でしたら、正確に言えば間違っています。では、その仏教以外の神道やキリスト教での御

香典の表書きは、何と書けば良いのでしょうか？正式な言い方をすれば、神道では「御神前」や「玉串料」。キリスト教では「御花料」とか「献花料」と覚えておきましょう。ちなみに神道の「玉串料」は弔事に限らず、一般的な神事でもお使いになります。他にも書き方があるので、特に使われる間違ひの無い言葉として神道では「御神前」や「玉串料」。キリスト教の場合は「御花料」や「献花料」としてお伝えさせていただきます。キリスト教の場合はカトリックでも、プロテスタントの場合でも「御花料」で統一されると間違ひ御座いません。それで、仏教式の法事では「御香典」という言葉が、宗派に関係なく使える万能言葉です。で、もし「御霊前」か「御仏前」で迷われた時は、「御香典」と表書き頂ければ問題ございません。御霊前をお使いにならない浄土真宗さんの法事でも、「御香典」とお書きになってご持参頂ければ宜しいかと思ひます。

さて、表書きの上半分はご理解頂けたかと思ひますので、次は下半分の書き方について解説してまいりたいと思ひます。表書きの下半分には、ご自分の名前を記載します。お名前も表書きの名目と同じく、正式には筆で書きますが、ペンで書いても問題ありません。この時、薄墨で書きましょうという、しきたり作法もあるのですが、薄墨で書くようにな

ったのは近年になってからで、本来の作法とすれば、薄墨にはこだわっておりません。普通の墨汁でも大丈夫です。

●【薄墨で書く理由】

なぜ薄墨なのかと申しましたら、突然の訃報で濃い墨をする時間が無かったとか、訃報を悲しく、寂しく感じるとか、弔事の場合は涙で墨も薄まるという思いが込められた表現として、ご遺族のお気持ちを慮って、薄墨で書くという、日本人らしい思いやりの心の表れと言われております。ただ、薄墨で無くて、ハッキリ書いてある方が読みやすくて良いという事もあるでしょうし、これはどちらでも良いと思います。ちなみに私は、薄墨で書くようにしております。やはり気になさる方もおられますので、私は薄墨で書きするようにしております。

さて、御香典袋の半分より下の段の書き方ですが、会葬者のフルネームを、外袋の表面・水引の真下の中央部分に、バランズ良く書くように意識して、ご自分の名前を記載しましょう。

これももし3人の連名にて出す場合には、目上の人を水引の真下・中央付近にお名前を書きます。その左横に2人目のお名前、更に左横に3人目のお名前を順番に書きます。更に4人以上の連名にて出す場合は、水引の真下・中央付近に代表者の名前を書きます。その左下に「他3名」などと添えて頂ければ宜しいです。

また、会社関係者などの連名にて出す場合には、水引の真下・中央付近に「会社名十一同」もしくは「学校名十一同」と記載いたします。部署単位で御香奠を包む場合は、「経理部一同」などと中央に書いて、その右側に会社名を添えます。

あるいは取引先など、仕事関係の御香奠で、会社名や法人名を書く場合には、水引の真下・中央に代表取締役のお名前を書いて、その右側に会社名や法人名を添えてください。

代表者名を書く場合には、水引の真下・中央付近に代表者の名前を書きます。その右側に会社名。そして左側に「外一同」という文言を添えて頂ければ大丈夫です。

更に夫婦連名にて出す場合には、水引の真下・中央付近に夫の名前、フルネームをお書き頂きまして、苗字を除いた妻の名前を、左横に添えましょう。

最後、夫の代理で妻が参列した場合には、水引の真下・中央付近に夫の氏名を記載し、その左下に「内」という小さな文字を添えていただければ宜しいと思えます。

また、御香奠袋をどれにしようか決めかねることもあると思います。まあ確かに、御香奠袋と一口に言っても、色んな種類がありますので、迷ってしまうと思うのですが、これはシンプルに、御香奠の金額に見合った袋を選ぶようになさ

て下さい。御香典袋は、黒白双銀の結び切りの水引をかけたものを選ぶようにして下さい。一般的な御香奠袋は、外袋・中袋の二重構造となっております。

中袋というのは、実際にお金を包み、外袋の内側に収納する封筒のことです。中袋の裏側には、会葬者の住所・氏名を記載いたします。一般的なタイプの封筒と同じように、郵便番号・住所・氏名の順番で書きましょう。

あるいは中袋の無い種類の御香奠袋を使う場合は、外袋の裏側下段に、郵便番号などの簡単な住所と、金額を記載いたします。そして外袋の表面には、表書きを記載するという事になります。

●【御香典の金額】

御香典の金額についてですが、包む金額には決まりは**ございません**。決まりはありませんが、**忌み数字**でもある忌数の「4万円」や「9万円」という金額は、お悔やみ事には不向きですので、**お気を付け下さいね**。

あと封筒に、御香典の金額を記載するのですが、漢数字で書く場合は、略式でも問題ないのですが、できれば旧漢字で御書きにされると尚良しです。例えば3万円はこのような漢字表記になります。

『金三万円 金参萬圓 金参萬圓』。金額の後に「也」は付けても付けなくても構いません。

御香典の封筒の入れ方ですが、一般的

に中袋を裏にして、開けた時にお札の表側が見えて、人物が下に来るようにします。また一枚以上のお札を入れる時には、お金の向きを揃えて入れるようにしましょう。ここで気をつけなければいけないのが新札のお札を使わないように気を付けることです。ここで新札を用いると、ご不幸を見越して用意していたという、大変失礼な表現となってしまうので、新札ではないお札を選んで使うようにしましょう。とは言え、どうしても新札しか手元に無いという場合は、お札の端を一旦折り曲げるか、お札を二つ折りにしてから、あらためてお札を伸ばして袋に入れるようになさって下さい。

逆に新札じゃないからといって、シワだらけのお札や、破れたお札を入れるのも、これはまた当然失礼にあたりますので、御注意下さいませね。

ということで、御香奠袋について解説してまいりました。如何だったでしょうか？ぜひ参考になさってみて下さい。分からない事、気になることがある場合は、お気軽にお尋ね下さいませね。

合掌 副住職 谷川寛敬

